

微生物学

講師	伊藤李香	実施時期 単位数	第1学年後期 1単位 (15時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	口腔の常在微生物とそれらが原因となる疾患を理解するために、微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫に関する基本的知識を習得する。				
授業概要	微生物についての全般的な生物学的理解を深める。ヒトに疾患を引き起こす微生物についてその病原性にかかわる因子や感染成立の要件などを考察する。病原微生物を排除する生体側の機構(生体防御機構)について理解する。				
学習方法	講義				
成績評価の方法	定期試験100%				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2「微生物学」第2版 医歯薬出版				
履修上の注意	歯科疾患を理解する上で大切な科目です。授業内容を理解するだけでなく臨床に際して治療の意義を考える手引きにしてほしい。口腔微生物学と総合的に講義を進めるので、便宜上予定の通りではないことがあるので注意すること。				
参考書	吉田眞一、柳雄介 編「戸田新細菌学」南山堂 その他、適宜紹介する。				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	これまでの歯科衛生士専門学校での実務経験を生かし、国家試験につながる講義を行う。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	感染の成り立ちと発病、細菌の一般性状と病原性	感染と発症を説明できる。
2	病原性細菌	微生物の感染機構と病原性を概説できる。
3	ウイルス、真菌、原虫	細菌以外の微生物の形態学的特徴と基本的性状を概説できる。
4	宿主防御機構	自然免疫と獲得免疫を説明できる。
5	免疫機構(液性免疫、細胞性免疫)	液性免疫と細胞性免疫を説明できる。
6	アレルギー	アレルギーを概説できる。
7	化学療法と化学療法薬	化学療法の目的と原理を説明できる。
8	院内感染対策と滅菌・消毒	院内感染の原因と予防法について、滅菌・消毒法について概説できる。